

道央廃棄物処理組合だより

千歳市・北広島市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町 平成30年9月発行

焼却施設基本設計の概要について

平成36年（2024年）4月稼働に向けて準備を進めております焼却施設の建設につきまして、基本設計がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

基本的事項

| | |
|-------------------|---|
| ◆ 建設予定地 | 千歳市根志越 2533-1、2534-1 ほか（敷地面積 4.29ha） |
| ◆ 施設規模 | 158 t/日（79 t/日×2 炉） ※煙突の高さ 59m |
| ◆ 処理方式 | 全連続燃焼式ストーカ方式 |
| ◆ 造成計画 | 雨水調整池を配置した後、軟弱地盤対策として、ブロック順に盛土により整備します。 |
| ◆ 電気 | 高圧電力または特別高圧電力 |
| ◆ 用水 | プラント用水は井水、生活用水は上水を使用します。 |
| ◆ 排水 | プラント排水は施設内で処理し、施設外へ放流しません。 生活排水は合併処理浄化槽により処理した後、施設外へ放流します。 |
| ◆ 余熱利用計画 | 焼却に伴って発生する熱を回収して発電を行い、施設内で利用し、余剰電力は電力会社に売却します。 |
| ◆ 焼却残渣（灰） 処理計画 | 焼却処理によって発生する焼却灰は、各市町が焼却施設へのごみ搬入量に応じた量の焼却灰を持ち帰りとします。 |

施設整備方針

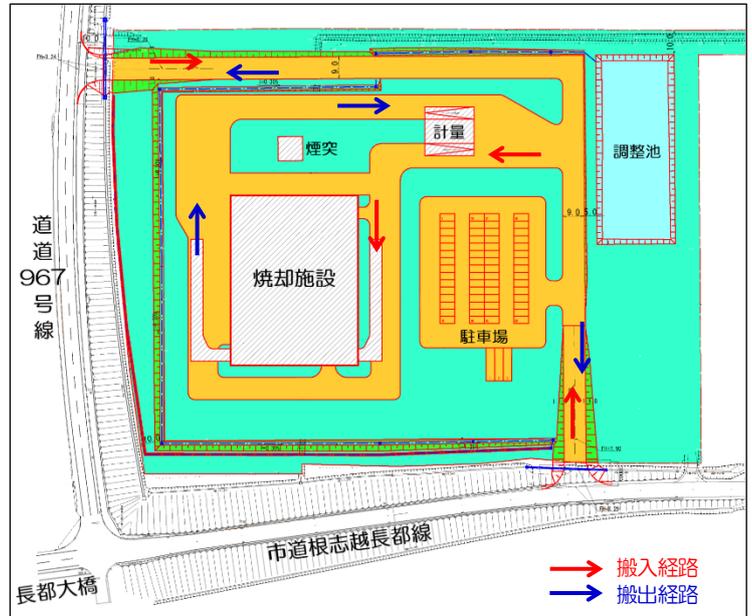
- ◆ **ごみを安全かつ安定的に処理できる施設**
法令に規定されている焼却施設が備えるべき性能指針を遵守するとともに、震災時等にも稼働可能な施設
- ◆ **環境にやさしい施設**
公害防止に十分留意し、燃焼管理や排ガス処理など総合的に検討した施設
- ◆ **循環型社会に寄与する施設**
エネルギーの有効利用を図るとともに、自然環境や社会環境との調和、周辺地域との共生に配慮した施設
- ◆ **経済性を考慮した施設**



長都大橋方向から見た完成イメージ図

全体配置図

- ◆施設入口は、道道967号線と市道根志越長都線の両方からアクセスできるよう2か所としています。
- ◆浸水対策として、盛土のほか、ごみを投入するためのプラットフォームを2階レベルに設けています。
- ◆管理棟を焼却施設の中に配置する合棟型としています。



施設建設費

145.8 億円 (税抜)

過去 10 年間に、全連続燃焼式ストーカ方式による施設規模 158 t / 日以上で発電設備を有する施工・稼働実績のあるプラントメーカーの見積をもとに、全国における発注予定価格と比較・検証し算出しています。

東日本大震災が発生した平成 24 年度以降の発注予定価格は増加傾向にあり、直近 3 年間に参考として算出しています。

運営管理費

5.33 億円/年、106.7 億円/20年 (税抜)

施設の運転管理から用役管理 (設備消耗品・薬品・燃料等の調達) や補修までを業務範囲とする長期包括的委託とし、委託期間は他自治体等で採用している一般的な期間と同様に 20 年間としています。

近年に建設した同規模施設の運営管理費の税抜き年間額を参考として算出しています。

事業スケジュール

| | 平成 31 年 (2019 年) 度 | 平成 32 年 (2020 年) 度 | 平成 33 年 (2021 年) 度 | 平成 34 年 (2022 年) 度 | 平成 35 年 (2023 年) 度 | 平成 36 年 (2024 年) 度 | |
|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|
| 実施設計 | → | | | | | | |
| 造成工事 | | → | | | | | |
| プラント・建築工事 | | | → | | | | |
| 外構工事 | | | | | → | | |
| 試運転 | | | | | → | | |
| 施設稼働 | | | | | | → | |

編集・発行・問合せ先 道央廃棄物処理組合

〒066-0012 千歳市美々758 番地の 54 千歳市環境センター管理棟 1 階

TEL 0123-40-5300

FAX 0123-23-0053

E-mail info@douou53kumiai.jp ホームページ <http://www.douou53kumiai.jp/>